



国際ペン獄中作家委員会創立50年記念イベント ただ心の内を語ったばかりに

Because Writers Speak their Minds

企画:国際ペン獄中作家委員会、日本ペンクラブ獄中作家・人権委員会

9月29日(水) | 19:00—20:45 | 早稲田大学 小野梓記念講堂 | 東京メトロ東西線早稲田駅下車徒歩5分 | 入場無料
都営バス早大正門バス停下車1分(高田馬場発) | 開場30分前

概要

創立50年目を迎えた、国際ペン獄中作家委員会の歴史を振り返り、未来へとつなぐ記念式典
第一部は作品や映像で紹介する獄中作家の人と作品、第二部は田中泯による獄中作家達へのオマージュ

プログラム

第一部 (予定)

- 「ただ心の内を語ったばかりに」50人の獄中作家の紹介
- 挨拶 | マリアン・ボスフォード・フレーザー Marian Botsford Fraser (国際ペン獄中作家委員会委員長)
| 川村湊 (日本ペンクラブ獄中作家・人権委員会委員長)
- 人と作品の紹介「50人の獄中作家」から
- 朗読と上映「ゆうかなな小鳥」ウィグル人獄中作家Nurmuhemmet Yasinの作品から
- 上映 映画「亡命」(ダイジェスト10分)



第二部 踊り

田中泯

田中泯 Min Tanaka



ダンサー、農民。1945年3月10日、アメリカ軍による東京大空襲の日、東京に生まれる。東京の闇夜が真赤に照らされ炎上したその日に生を得た、と両親に話し続けられた田中は、以降孤独の内のマゾマゾを感じとりながらオドロの共同の輪(盆踊り)魅かれてゆく。10代の終わりからクラシック・バレエとアメリカン・モダンダンスを学ぶが、10年後拒絶、方法のない踊りを模索し始める。1980年代、当時の東ヨーロッパ(チェコ、ハンガリー、ポーランド、ソヴィエトなど)の都市でアンダーグラウンドの公演を執行する。同時に「土方巽」を師と決め私淑する。「名付けられない、説明の出来ない踊りを、皮膚の内と外との交換の中から求め続けるダンサー」として生き続ける。
詳細はホームページをご覧ください。<http://www.min-tanaka.com/>

事前登録票

インターネット登録が便利です。「日本ペンクラブ」を検索し、該当項目から事前登録画面を開けます。

<http://www.japanpen.or.jp/convention2010/>

ファックスの場合は、末尾にお名前とご連絡先のFAX番号等をご記入の上、次の番号に送信してください。

FAX 03-3508-1710 ※FAXによる申込期限:9月15日(水)

※プログラムごとに事前登録された方が優先です。登録希望者多数の場合は申込み順となります。定員に限りがありますので、確実にご入場いただくために、事前登録をおすすめいたします。
※ご友人・家族などと一緒にファックス登録される場合は、この面をコピーし、お一人ずつご登録ください。

フリガナ	TEL	—	—	FAX	—	—
お名前						

【個人情報保護について】本イベントについて、日本コンベンションサービス株式会社(JCS)が主催者より参加受付業務を委託されています。お預かりする個人情報は、当イベント運営に関する業務の目的で利用いたします。個人情報を主催者に提供する場合、旅行・宿泊取扱業者に提供する場合、法令等に基づく場合などを除き、お預かりする個人情報を第三者に提供いたしません。また、個人情報を当社の業務委託先に委託する場合がありますが、この場合は委託先に対し適切な管理・監督を行います。JCSの個人情報保護方針については、以下をご参照ください。
◆JCS個人情報保護方針→<http://www.convention.co.jp/privacy/index.html> または、http://www.jcs-pco.com/contact_privacy.html ◆個人情報保護に関する照会先→cpcs@convention.co.jp ※プログラム内容、出演者等は都合により変更になる場合があります